

第二復員省公報 第七八號

昭和二十一年五月一日
第二復員大臣官房

○令達

達第一〇號

地方復員局處務規程中左ノ通り改正スル

昭和二十一年四月三十日

第二復員大臣

第十二條中舞鶴地方復員局掃海部支部ノ項「伏木」ヲ削ル

(昭和二十年十二月一日第二復員省公報參照)

○通牒

二、人事局補第一八號ノ四四
昭和二十一年四月二十五日

第二復員省人事局長

各地方復員局總務部長殿

歸還軍人ノ解員ニ關スル件申進

首題ノ件ハ五月一日以後左記ニ依リ處理スルコトニ定メラレタ
追テ復員廳開廳日以後ハ第二復員大臣、地方復員局長官及ビ
第二復員省人事局長ニ關スル事項ハ夫々復員廳總裁、地方復
員局長及ビ復員廳第二復員局人事部長トスル

記

第二復員省公報 第七八號 昭和二十一年五月一日

鹿兒島市朝日通リ

○解員實施者

士官ニ就テハ第二復員大臣ノ、又特務官宣准士官下士官
及ビ兵ニ就テハ在籍地方復員局長官

連絡所長ガコレヲ實施スル

二、解員期日

上陸日ノ翌日

三、通報

上陸地連絡所長ハ解員シタ者ノ所轄名、官職階、氏名、電報
符(入替番號)解員月日及ビ歸郷先ヲ士官ニ付テハ第二復員
省人事局長ニ其ノ他ノ者ニ付テハ在籍地方復員局人事部長ニ
通報スル

○難款

自今本船宛郵便物ハ左記ニ送付サレタイ
○郵便物發送先
記

福岡縣 博多局氣付

特別輸送船 驅潜第四七號

(特別輸送船駆潜第四七號)

第二復員省公報 第七八號 昭和二十一年五月一日

佐世保地方復員局鹿兒島上陸地連絡所氣付
特別輸送艦 海第七十九號

（特別輸送艦海第七十九號）

電話大津 一七三一一番
一七三三番

東舞鶴局氣付
特別輸送艦 據第二十一號

（特別輸送艦據第二十一號）

當事務所ヲ四月一日左記ニ移轉シタ
記

函館市末廣町九番地（金森ビルディング内）
復員部 三階 電話五二三六番

運航班 七階 電話五二三五番

（函館上陸地連絡所）

東舞鶴便局留置
特別輸送艦 海第六十七號

（特別輸送艦海第六十七號）

神奈川縣浦賀町
横須賀地方復員局艦艇連航部氣付

（特別輸送艦輸第二十號）

當支部ハ四月十三日旭川市近文二線二號、護國神社前旭川地方
世話部（電話旭川四五四五番）ニ移轉シタ
（札幌地方復員人事部旭川支部）

○轉官

佐世保市 佐世保局氣付
特別輸送艦 箕面

（特別輸送艦 箕面）

海軍技手中原彌、市村一敏ハ昭和二十年八月三十一日附鐵道官
補ニ、第二復員官補岡村正一ハ昭和二十年十二月二十日附稅務
署屬ニ、海軍技手諸岡直巳、同高橋宇一、同竹田貞藏ハ三月十
五日孰モ水路部技手ニ轉官シタ

○移轉
記
舞鶴地方復員局人事部大津支部ハ四月十八日左記ニ移轉シタ

滋賀縣大津市神出町（滋賀地方世話部内）

第二復員省公報 第七九號

昭和二十一年五月二日(木)

第二復員省公報 第七九號

○通
鑑

官房經第六二號
第二復員省所管一般會計歲出科目中左ノ通り追加スル

二復人事局補第一八號ノ四支
昭和二十一年四月三十日

第二復員金事局長

二級事務官及同待遇者現在員名簿入件照會

事務上必要ニツキ復員廳ニ官制改正ノ日現在ニオイテ各廳
舍ムノニ二級事務官及同待遇者名簿二通ヲ左記様式ニヨ

ベク速ニ送付サレ度尙爾後異動ノアツタトキハソノ都度

記

廿二年四月

二級事務官及同待遇者名簿（一月一日現在）

官等級俸

卷之三

卷之三

卷之三

第一復員省公報 第七九號 昭和二十一年五月一日

卷之三

10

註 一 (配置)ハ具體的ニ記載ノコト
例 「、、主任」「機械長」

二 官等級俸ハ左例ニヨリ記載ノコト
舊 「中佐」「中尉(機)」「理事官」

新 「事務官十三號俸」「嘱託二五〇圓」

三 在籍地方復員局別ハ元特務士官タリシモノノミ記載
ノコト

四 附屬艦艇乗員ニツイテハ之ヲ継メ且ツ乗艦艇名ヲ記
事欄ニ記載ノコト

○ 雜 款

○郵便物發送先
本船宛郵便物左記ニ依リ送付サレタイ

記

山口縣德山市 德山掃海支部氣付

榮 昌 丸 (榮 昌 丸)

○殘務整理
左記ニ殘務整理班ヲ設置セリ

記

東京都芝區田村町一丁目二番地 (日產館艦内)

(海南警備府殘務整理班)

○轉官
第二復員技官山田三朗ハ四月十九日運輸技官ニ轉官シタ

三 各地方復員局ニ於ケル辭令取扱ノ範圍ハ從前通
四 二、三級官共總テ同一形式トスル

二復人事局補第一八號ノ四七

昭和二十一年四月三十日

第二復員省人事局長

横須賀、吳、舞鶴、佐世保、各地方復員局人事部長殿

補職發令サレタ未歸還者ノ取扱ノ件申進

在外部隊等職員デ内地各部職員ニ補職發令サレテイマダ内地ニ
歸着シテ半ナイ者ハ部隊等ノ廢止ニカカハラズ辭令ハ特ニ改メ
ナイデ其ノ儘トシ内地歸着後豫備役編入又ハ召集解除ノコトニ
ソノ取扱ヲ一定サレタ

○難 款

○郵便物廻送ノ件
自今本艦宛郵便物ハ左記ニ依リ廻送サレタイ

北海道宗谷郡 稚内町郵便局氣付
(捕 海 艦 屋 代)

○事務開始

昭和二十一年四月十五日附福岡市石城町ニ於テ事務ヲ開始シタ
(佐世保地方復員局博多運航部)

第二復員省公報 第八一號

昭和二十一年五月七日(火)

第二復員大臣官房

備考 會計官吏ハ出納命令官ガコ_ノスレバ其ノ旨ヲ報告セヨ

達第一二號

第二復員省本省及ビ地方復員局ニオケル物品會計ニ關シテハ左ノ通り定メル

昭和二十一年四月一日

第二復員大臣

物品會計ニ關シテハ從來兵備品トシテ取扱ツテ居タモノニ
關_ノジテモ_スベテ海軍通常物品會計規程及ビ海軍通常物品會計規程戰時特例ヲ適用スル

出納命令官及ビ會計官吏ヲ左ノ通り定メル

部長		貢(イ)本省		第二復員大臣		内令第五五號	
品名	會計課長	出納命令官	會計官吏	右ヲ特別輸送船トシ横須賀地方復員局所管ト定メル	同	元雜役船 _ノ 栗橋	同
本省所屬物品	會計局局員	内令第五六號	阿多田丸	右ヲ特別輸送船トシ佐世保地方復員局所管ト定メル	同	朝風丸	ばごた丸
地方復員局	出納命令官	昭和二十一年四月二十五日	第二復員大臣	右ヲ特別輸送船トシ佐世保地方復員局所管ト定メル	同	同	同
(イ) 地方復員局所屬 (物品補給用)	經理部長	昭和二十年内令第七號中左ノ通り改正スル	同	右ヲ特別輸送船トシ佐世保地方復員局所管ト定メル	同	同	同
補給用物件	需品部長	内令第五六號	阿多田丸	右ヲ特別輸送船トシ佐世保地方復員局所管ト定メル	同	同	同
	需品部員	昭和二十一年四月二十五日	第二復員大臣	右ヲ特別輸送船トシ佐世保地方復員局所管ト定メル	同	同	同
		表申	同	右ヲ特別輸送船トシ佐世保地方復員局所管ト定メル	同	同	同

第二復員省公報 第八一號 昭和二十一年五月七日

一五五

2190

吳地方復員局 海第二十六號(佐) 一二〇四試航筏
同第四十號(佐) 一二〇五試航筏

佐世保地方復員局ノ項掃海艦名ノ欄「海第四十八號、同第七十六號、同第七十七號、同第二百二號、同第二百四號、同第二百五十四號、同第二百五十六號、同第二百十七號」ヲ「海第四十八號(吳)、同第七十六號(吳)、同第七十七號(吳)、同第二百四號(吳)、同第二百五十四號(吳)、同第二百十七號(吳)」ニ改メル

備考欄末尾ニ左ノ如ク加ヘル
艦(船)名又ハ隻數ノ下()内ハ所管ヲ示ス

(昭和二十年十二月十八日第二復員省公報第一〇號參照)

内令第五七號

昭和十八年内令第一八三三號ノ中ヲ次ノヤウニ改正スル

昭和二十一年四月三十日

第二復員大臣

表ノ中基隆防備隊、馬公方面特別根據地隊及高雄海軍警備隊ノ各項ヲ削ル(所屬ノ特務艇ハ全部除籍スル)

内令第五八號

昭和十八年内令第三五六六號ノ中ヲ次ノヤウニ改正スル

昭和二十一年四月三十日

第二復員大臣

表ノ中基隆防備隊、高雄海軍警備隊及ビ馬公方面特別根據地隊

ノ各項ヲ削ル
内令第五九號

右ヲ特設驅潜艇トシテ吳地方復員局所管ト定メタノヲ解ク
汽船 紀 洋 丸
同 高 知 丸
同 揚 梅 丸
同 蘭 水 丸
同 草 錦 丸
同 嘉 南 丸
同 旺 洋 丸
同 南 岬 丸
同 陽 山 丸
同 水 丸
同 山 丸
同 丸

同 第二十二日東丸

同 第二十一日東丸

同 第二十二昭和丸

同 第二十三昭和丸

同 第二十四昭和丸

同 第二十五昭和丸

同 第二十六昭和丸

同 第二十七昭和丸

同 第二十八昭和丸

右ヲ特設驅潜艇トシテ舞鶴地方復員局所管ト定メタノヲ解ク

第二復員省公報 第八一號 昭和二十一年五月七日

(特別輸送艦海第一四二號)

一五八

○事務開始
四月十五日當部連絡所ヲ左記ニ設置シ當分ノ間博多、若松、門司方面ノ連絡事務ヲ擔當スル

記

博多港内碇泊、特別輸送艦輪第一七四號

佐世保復員局管業部博多連絡所

(佐世保地方復員局管業部)

○轉官
海軍技師野口徳三ハ三月三十日附地方技師ニ轉官シタ

2193

第二復員省公報 第八二號

昭和二十一年五月八日(水)

第一復員大臣官房

○令 章

達第一二號

第二復員部内臨時手當支給規則ヲ次ノヤウニ制定スル

昭和二十一年五月七日

第二復員大臣

部長

主計課長

員

第一復員部内臨時手當支給規則

第一條 官吏同待遇者、嘱託者、雇員及び傭人ニハ本則ニ依リ

手當ヲ支給スル但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハコノ限りデ

ナキ。又受ケナイ者、又ハ第二復員部内ノ勤務ヲ本務トシナイ者。

ナキ。

第一條 俸給モシクハ給料(報酬ヲ含ム以下コレニ同ジ)ノ支給

シ休職中ノ者。

三 外地又ハ外國ニアル者(特別輸送艦船乗員ヲ除ク以下之

ニ同ジ)。

四 臨時ニ雇傭、又ハ嘱託サレタ者デ雇傭、又ハ嘱託ノ日カ

ラ六月ヲ越エナイ者。

第二條 手當ノ額ハ本人ノ受ケルベキ俸給又ハ給料、勤績手當、

臨時家族手當及び臨時物價手當ノ合計月額ニ應ジ且ツ勤務地ニ依リ區分シタ別表ノ額ニヨル。

第三條 外地又ハ外國ニアル者デ内地ニ扶養家族(第二復員部内臨時家族手當支給規則第三條ニ該當スル者)ヲ残置スルモノニハ第一條第三號ノ規定ニガカハラ不本人ノ受ケルベキ俸給又ハ給料、臨時家族手當及び臨時物價手當ノ合計月額ニ應ジ別表ノ、ソノ他ノ市ニ付キ定メル額ノ三分ノ一(四未滿ハ四位ニ満タセル)ニ相當スル額ヲ支給スル。但シ部外ノ官公署又ハ官公立學校ノ職員デ召集サレタ者ハコノ限りデナイ。

第四條 手當ハ俸給又ハ給料ノ支給日ニコレヲ支給スル。但シ轉勤、轉届、轉拂、退職、死亡等ノ場合ハソノ月分ノ全額

(第一條第一號又ハ第二號ニ該當スルコトナツク場合ヲ含ム)ヲ支給スル。

第五條 手當ノ支給ヲ受ケル者ガ轉勤、轉届、轉拂等ニヨリ所屬ヲ異ニシタトキハ新勤務廳ニオイテハソノ翌月分カラ手當ヲ支給スル。

第六條 手當ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハソノ間之ヲ支給シナイ。

一 俸給又ハ給料ノ支給ヲシナム。

二 休職ノトキハソノ翌月カラ復職ノ前月迄。

三 留置、勾留、處刑又ハ被告事件ノ爲護送ノトキハソノ月

カラ取消又ハ釋放ノ前日ノ屬スル月迄。

第七條 本則ニ定メルモノヲ除クホカ手當ノ支給ニ關シテハ俸
給又ハ給料支給ノ例ニヨル。

附 則

本達ハ昭和二十一年三月一日以後ノ給與ニツキコレヲ適用ス
ル。

本達ハ第二復員部内ニアル工員ニコレヲ適用スル。

(別紙添)

達第一三號

第二復員部内臨時家族手當支給規則外四件ヲ次ノヤウニ改正ス
ル。

昭和二十一年五月七日

第二復員大臣

第一條 復員部内臨時家族手當支給規則ヲ次ノヤウニ改正ス
ル。
第一條 官吏同待遇者、嘱託者、雇員及傭人ニシテ扶養家族
アル者ニハ本則ニ依リ手當ヲ支給ス但シ左ノ各號ノ一ニ該
當スル者ニハ此ノ限ニ在ラズ。
一 俸給若ハ給料(報酬ヲ含ム以下之ニ同ジ)ノ月額百五
十圓ヲ超エル者。
二 俸給若ハ給料ノ支給ヲ受ケザル者又ハ第二復員部内ノ
勤務ヲ本務トセザル者。
三 休職中ノ者。
四 外地又ハ外國ニ在ル者(特別輸送艦船乗員トシテ派遣
セラレタル者ヲ除ク)。

第三條 中「又ハ第二號」及ビ第一號ヲ削リ、第二號ヲ次ノヤ
ウニ改メ同號ヲ第一號トシ第三號ヲ第二號トスル。
二 官吏(一級及二級)同待遇者(同待遇ノ嘱託者ヲ含ム
以下本號中之ニ同ジ)ニ非ラザル職員トシテ満十五年以
上勤務シタル後官吏(一級及二級)同待遇者又ハ官吏(三
級)同待遇者(同待遇ノ嘱託者ヲ含ム)ニ任用又ハ採用セ

三 臨時ニ雇傭又ハ嘱託セラレタル者ニシテ雇傭又ハ嘱託
ノ日ヨリ六月ヲ超エザル者。

第六條中「(離現役即日召集ノ場合ヲ除ク)」ヲ削ル。

第七條中「(第四條第一項但書ノ規定及離現役即日召集ノ場
合ヲ除ク)」ヲ削ル。

第九條ヲ削ル。

二 第二復員部内勤績手當支給規則ヲ次ノヤウニ改正スル。

第一條 官吏同待遇者、嘱託者、雇員及傭人ニシテ勤績五年
以上ノ者ニハ本則ニ依リ勤績手當ヲ支給ス但シ左ノ各號ノ
一ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラズ。

一 俸給又ハ給料(報酬ヲ含ム以下之ニ同ジ)ノ月額百五
十圓ヲ超エル者。

滿二十年以上十五年未滿勤續ノ者	一五〇〇
滿十五年以上二十年未滿勤續ノ者	二五〇〇
滿二十年以上二十五年未滿勤續ノ者	三五〇〇
滿二十五年以上勤續ノ者	四五〇〇

滿二十五年以上十五年未滿勤續ノ者	一八〇〇
滿二十五年以上二十年未滿勤續ノ者	二五〇〇
滿二十五年以上二十五年未滿勤續ノ者	三三〇〇
滿二十五年以上勤續ノ者	四五〇〇

達第一四號

第二復員部内俸給家族下渡規則左ヲ次ノヤウニ改正スル。

昭和二十一年五月七日

第二復員大臣

第五條ノ二ヲ削ル。

第七條ヲ削リ第六條ノ二ヲ第七條トスル。

第十八條及第十九條中「臨時物價手當」ノ下ニ「臨時手當」ヲ加ヘ「勤續手當」ヲ削ル。

様式第一、様式第二及様式第四中

臨時物價手當	臨時手當
ノ欄ヲ加へ勤續手當	ノ欄ノ

ノ欄ヲ削ル

本達ハ昭和二十一年三月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用スル。但シ第七條、第十八條、第十九條及ビ様式ノ改正規定中勤續手當

ニ關スル部分ハ昭和二十一年四月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用スル。

○通牒

第二七一七三〇番電 昭和二十一年三月二十七日發電済

宛 第二復員大臣

艦船乗員タル復員官補雇員増俸ノ件

艦船乗員（豫備員ヲ含ム）タル復員官補及雇員ノ増俸ヲ左ニ依リ之ヲ施行ス

一 増俸期日 昭和二十一年四月一日

二 停年計算期日 昭和二十一年四月一日

三 增俸停年 第二復員部内勤務三ヶ月

四 增俸比率 百分ノ四十以内

五 増俸（給額）復員官補ニ對スル増俸ハ直上級俸トシ、雇員ニ在リテハ月額十圓以内トス

六 増俸試験（判任官一等ヲ除ク）

各所轄毎ニ適宜ノ方法及問題ニ依リ筆答又ハ口答試験ヲ行フ

七 順位決定

人物勤務及試験成績ヲ參酌シ之ヲ定ム

八 増俸ハ各所轄ノ長之ヲ行ヒ（端數ハ所轄長ノ所信ニ依ル）各

所屬復員局長官ニ經由大臣ニ報告スルモノトス

第一〇六二三一三番電 昭和二十一年四月六日發電
發人事局長
宛部内一般
第二七一七三〇番電中 五 増俸（給額）雇員ニ在リテハ月額
十四以内トス」ニ「但シ特殊ナルモノヲ除キ五回ヲ標準トス」
ヲ加ヘラル

二復經理局主第二號ノ三六

昭和二十一年四月二十七日

第二復員省經理局長

關係各廳長殿

埋葬料及補給用生糧品代ノ自由支拂取扱ニ關

首題ノ件ニ關シ大藏省ト應答ノ結果別紙ノ通大藏省令第二十四

號第一條第一項第五號ノ規定ニ依ル大藏大臣ノ指定スル經費ト
シテ指定セラレタ

（別紙第二）

二復經主第二號ノ二三

昭和二十一年四月九日

第二復員省經理局主計課長

大藏省理財局國庫課長殿

自由支拂ト爲スモノノ指定ニ關スル件照會

左記金錢債務ノ支拂ハ附記ノ理由ニ因リ自由支拂（現金支拂又

第二復員省公報 第八二號 昭和二十一年五月八日

一六三

ハ現金以外ノ封鎖支拂（非ザル支拂）ト爲ス必要有之候條國又
ハ都道府縣其ノ他地方公共團體支拂等規則第一條第一項第五號
ニ該當スルモノトシテ指定方可然御取計相成度
追ツテ本件ハ大藏省令第二十四號公布前ヨリ主計局ノ了解ヲ
得テ實行中ノモノナルニ付御含ミシ得度
記

一 埋葬料

（理由）旅費、被服料等ト同様實費辨償ニ屬スル經費ニシテ

理金支拂ヲ要スル已ムヲ得ザル事情アルニ付

二 艦船補給用生糧品代ニシテ緊急ヲ要スル菓貨ノ爲必要已ム

ヲ得ザルモノ

（理由）復員輸送、掃海等終戰關係業務遂行上緊急ヲ要シ已

ムヲ得ザル事情アルニ付

（別紙第二）

昭和二十一年四月三十日

大藏省理財局國庫課長

第二復員省經理局主計課長殿

埋葬料支拂ノ取扱ニ關スル件

四月九日附經主第二號ノ二三〇以テ御照會ニ係ル首題ノ件ニ關
シテハ大藏省令第二十四號第一條第一項第五號ノ規定ニ依ル大
藏大臣ノ指定スル經費トシテ指定相成候條御了知相成度

追而生鮮食料購入經費ニ付テハ四月五日指定済ニ有之爲念

ノ指定スル封鎖支拂ニ非ザル支拂ヲ爲シ得ル經費トシテ指定相成候御了知相成度

(別紙第三)

藏會第三三三號

昭和二十一年四月五日

大藏大臣官房會計課長 正示啓次郎

第二復員省經理局長殿

國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體ノ支拂中

生鮮食料品購入經費ノ支拂ノ取扱ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通大藏次官ヨリ通牒有之候條取扱上遺漏
ナキ様期セラレ度此段及通牒候也

(別紙第四)

官房秘乙第一九七號

昭和二十一年四月五日

大 藏 次 官 殿

國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體ノ支拂中

生鮮食料品購入經費ノ支拂ノ取扱ニ關スル件

國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體支拂等規則第一條第一項第五號ノ規定ニ依リ船舶乗組員、病院入院患者、引揚收容所被收容者、學校寄宿舍ニ居住スル學生、刑務所收容者等ノ食費中生鮮食料品購入ノ爲ニスル經費ハ都道府縣ノ生鮮食料品指定荷受機關ニ對シ記名式小切手ニ依リ支拂ヲ爲ス場合ニ限り大藏大臣

○ 雜 獻

○郵便物發送先
當分ノ間本艦宛郵便物ハ左記ニ依リ送付サレタイ
長崎縣佐世保市 佐世保郵便局氣付

特別輸送艦 海第六十七號
(特別輸送艦海第六十七號)

東舞鶴郵便局氣付
特別輸送艦 海第二〇五號
(特別輸送艦海第二〇五號)

第二復員省公報 第八三號

昭和二十一年五月九日(木)

第二復員大臣官房

○令
達

内令第五四號

昭和二十一年四月一日以降ハ内地各廳ニ工(鑄)員ヲ置カナイ

昭和二十一年四月十八日

第二復員大臣

各廳長殿

申進取消ノ件通知

第二復員省人事局長
第二復員省經理局長
第二復員大臣官房醫務部長

二復人事局補第四號ノ六五(復員輸送艦船、病院船及攝海艦船ノ職員タル軍醫科及ビ薬劑科士官ノ配員事務移管ニ關スル件依命申進)ハ取消サレタ

第二二一〇四五番電(昭和二十一年四月二十二日發電)

發 經理局長

宛 部内一般

下士官ヨリ雇員トナリタル者ノ給與ノ件

二等下士官タル事務官ヨリ雇員トナリタル者ノ給與ハ雇員シテ定メタルモノニ依ルベキモ給料其ノ他減額トナルモノハ從前ノ額ニ依リ支給差支ナシ

第二七一五〇一一番電(昭和二十一年四月二十七日發電)

發 第二復員大臣

宛 部内一般

二復人事局補第四號ノ八〇
昭和二十一年四月二十五日

第二復員省公報 第八三號 昭和二十一年五月九日

一六五

2200

外地又ハ外國ニ在ル海軍軍人軍屬ニシテ内地ニ扶養家族（第二

復員部内臨時家族手當支給規則第三條ニ該當スル者ヲ謂フ）ヲ

存置スルモノニハ本年三月以降左ニ依リ臨時手當ヲ支給ス

一 支給額

俸給、給料（日給者ハ日給三十日分）、臨時家族手當及臨時物

價手當（月額五十圓）ノ合計月額（十四未滿ハ切捨ツ）ニ應

ジ六大城市以外ノ市ニ付定ムル額ノ二分ノ一ノ金額（圓未滿

圓位ニ満タシム）

二 第二復員部内臨時物價手當支給規則第三條乃至第五條ヲ準

用ス

二復經理局主第六號ノ二四

昭和二十一年五月六日

第二復員省經理局長

關係各廳長殿

引揚邦人ノ持歸金ニ代ル現金預リ證等ノ取扱

ニ關スル件通知

引揚邦人ノ携帶輸入スル現地聯合軍側發行ノ外貨表示現金預リ
證及ビ部隊長發行ノ現金燒却證明書並ビニ聯合軍ニ對スル現金

引渡ノ證明書ニ對シテハ普通ノ現金預リ證ニ準ジ現金ノ拂戻ヲ
認メラレルコトトナリ之ニ關シ別紙ノ通り大藏省告示及ビ太歲
省理財局長通牒ガ發セラレタ

（別紙）

大藏省告示第一七八號

左ニ掲タル場合ニ於テハ外國爲替管理法施行規則又ハ昭和二十
年大藏省令第八十八號ノ規定ニ依ル制限並ニ報告ヲ免除ス

昭和二十一年三月三十一日

大藏大臣 子爵 潤澤敬三

一 濱洲、新西蘭及東南亞細亞地區（北米合衆國ノ管轄地區ヲ
除外）ヨリ本邦ニ歸還スル本邦人（一般人及陸海軍軍人、軍
屬並ニ此等ノ者ニシテ今次戰爭中俘虜タリシ者ヲ含ム）ガ其
ノ携帶輸入セル聯合國發行ノ右地區ノ通貨ヲ以テ表示シタル
現金預リ證ニ依リ日本銀行ノ本店、支店又ハ上陸地ニ在ル代
理店ニ於テ一人ニ付左ノ金額ノ支拂ヲ受クルトキ但シ俘虜タ
リシ者ニ付テハ俘虜タリシ期間中ニ於ケル收入金ニ付左ノ金
額ヲ超ヘ其ノ支拂ヲ受クルコトヲ得

一般人（軍屬ヲ含ム）

千圓相當額以内

五百圓相當額以内

二百圓相當額以内

軍人（將校

下士官以下）

二 日本銀行ノ本店、支店又ハ代理店ガ前號ニ依ル支拂ヲ爲ス
トキ

◎ 大藏省告示第二百九十七號
左ニ掲タル場合ニ於テハ外國爲替管理法施行規則又ハ昭和二十
年大藏省令第八十八號ノ規定ニ依ル制限並ニ報告ヲ免除ス

昭和二十一年四月十九日

大藏大臣 子爵 濱澤敬三	一、外國ヨリ本邦ニ歸還シタル本邦人（一般人及陸海軍軍人、軍屬竝ニ此等ノ者ニシテ今次戰爭中俘虜タリシ者ヲ含ム）ガ其ノ本邦ニ向ケ出發前ニ聯合國ヨリ發行ヲ受ケタル米國通貨表示ノ現金預り證ニ依リ日本銀行ノ本店、支店又ハ上陸地所在代理店ニ於テ一人ニ付左ノ金額ノ支拂ヲ受クルトキ但シ俘虜タリシ者ハ俘虜タリシ期間中ニ於ケル收入金ニ付テハ左ノ金額ヲ超エ其ノ支拂ヲ受クルコトヲ得
一般人（軍屬ヲ含ム）	千圓相當額以下
軍人（將校 下士官以下）	五百圓相當額以下
二 日本銀行ノ本店、支店又ハ代理店ガ前號ニ依ル支拂ヲ爲ス	二百圓相當額以下
藏理外第一〇〇八號	昭和二十一年四月二十四日
大藏省理財局長	昭和二十一年四月二十四日
日本銀行國庫局長 殿	昭和二十一年四月二十四日
日本銀行外事局長 殿	昭和二十一年四月二十四日
引揚邦人ノ持歸金ニ代ルベキ現金預り證ニ關スル件	昭和二十一年四月二十四日
海外引揚邦人ガ持歸現金ノ代リニ携帶セル左記證書類ニ關シテハ爾今昭和二十年十二月二十六日附藏外爲第三九〇號通牒第二項ニ定ムル現金預り證ニ準ジ取扱フコトト相成候條同通牒第三	昭和二十一年五月九日
○郵便物發送先 記	定期チフス届豫防接種ハ至急各需品部「又ハ検疫所」カラ豫防波ヲ受込ンテ施行サレタイ
博多郵便局氣付	自今本艦宛郵便物ハ左記ニ依リ送付サレタイ
特別輸送船 新興丸	特別輸送船 新興丸
(特別輸送船 新興丸)	(特別輸送船 新興丸)

項ニ依リ日本銀行國庫代理店ニ於テ現金ノ兩替ニ準ジタル方法ニ依リ之ガ拂戻ヲ爲ス様御取計相成度

記

一 現地聯合軍側ノ指令ニ基キ現地軍ニ於テ引揚者ノ私有金ヲ取締メ焼却又ハ聯合軍側ニ引渡シノ上當該引揚者ニ對シ交付シタル部隊長又ハ部隊分任出納官吏名儀ノ現金焼却證明書又ハ現金引渡證明書

○郵便物廻送ノ件
自今本船宛郵便物ハ左記へ廻送サレタイ

記

山口縣德山市 德山地方掃海支部氣付

試航船 わかくさ丸

(試航船 わかくさ丸)

佐世保局氣付
特別輸送船 古守

(特別輸送船 古守)

○移轉
高松地方復員人事部ハ五月三日高松市昭和町香川地方世話部内
ニ移轉セリ

(高松地方復員人事部)

第二復員省公報號外
(位勳)

第二復員省公報 第八四號

昭和二十一年五月十日(金)

第二復員大臣官房

○令
達

内令第六二號

昭和二十年内令第七號ノ中ヲ次ノヤウニ改正スル

昭和二十一年五月五日

第二復員大臣

○通
牒

右ヲ掃海船トシテ大阪地方復員局所管ト定メ

昭和二十一年五月五日

第二復員大臣

親和丸

部
長
ノ
中
央
機
須
賀
地
方
復
員
局
掃
海
部
横
須
賀
支
部
ノ
項
掃
海
船
名
又
ハ
隻
數
ノ
欄
大
阪
地
方
復
員
局
掃
海
部
大
阪
支
部
ノ
項
掃
海
船
名
又
ハ
隻
數
ノ
欄
太
東
丸
、
親
和
丸
ヲ
削
ル
大
阪
地
方
復
員
局
掃
海
部
大
阪
支
部
ノ
項
掃
海
船
名
ノ
欄
「
同
第
六
十
五
號
」
及
ビ
「
同
第
百
九
十三
號
」
ヲ
削
ル
(參照
昭和二十一年三月六日第二復員省公報第一〇號)

内令第六三號

元第六十五號驅潛特務艇

同第百九十三號驅潛特務艇

右ヲ掃海艇トシテ大湊地方復員局所管ト定メタノヲ解ク

汽
船
太
東
丸

第二復員部内各所屬長官、其ノ管下ニ於テ外埠ヨリ歸還セル部隊、廳等ノ殘務整理ノ爲是非共必要ナル場合ニ限り期間ヲ内地歸着後約一ヶ月トシ各廳(部隊)三名以内(准士官以上)、下士官兵二ヲ標準トス。嘱託者トシテ臨時採用スルコトヲ得
一本令ニ依リ採用ノ嘱託者ハ之ヲ臨時嘱託ト稱ス
二 待遇ノ決定ハ現行嘱託者待遇内規ニ據リ報酬額ハ復員直前ノ俸給ト同一額トシ科目ハ在外部隊諸費、雜給支辨トス
三 辦令中「部内限待遇」ニ代フルニ「部内限報」ヲ以テシ一
般嘱託者ト區別スルモノトス
四 採用ニ際シテハ其ノ都度嘱託者身上取扱規則第五様式(從

(駆 潜 第 四 七 號)

一七〇

前ノ官職欄、殘務整理廳(部隊名)及内地歸着年月日欄ヲ加
フ)ニ準ジ速ニ報告スルモノトス

五 本臨時嘱託ハ採用ノ日ノ屬スル月ノ翌月末日降令ヲ用ヒズ
シテ解囑セラレタルモノトス

六 残務處理ニ任ズル嘱託ハ極力事務處理ヲ促進スルト共ニ解
囑時迄ニ尙残務終了セザル際ハ地方復員局人事部及經理部ニ
事務ヲ引繼グモノトス

官房經第六九號

特別輸送艦船ニシテ傳染病患者ノ隔離收容船トシテ指定セラレ
タル場合該艦船ノ乗員ニシテ專ラ該病者ニ接近スル業務ニ服シ
又ハ病毒汚染ノ虞ノアル業務ニ從事シタルトキハソノ業務ニ從
事シタ期間受ケルベキ俸給又ハ給料ノ三分ノ一ヲ傳染病豫防救
治手當トシテ支給スル

本令ハ昭和二十一年四月一日以後ノ給與カラコレヲ適用スル

昭和二十一年五月九日

第二復員大臣

○難 款

○郵便物發送先
本艦宛郵便物ハ左記ニ依リ送付サレタイ

記
横須賀市浦賀町 横須賀艦船運航部氣付

第二復員省公報 第八五號

昭和二十一年五月十一日(土)

第二復員大臣官房

○令 達

昭和二十一年五月七日

内令第六四號

昭和二十年内全第七號ノ中ヲ次ノヤウニ改正スル
昭和二十一年五月一日

第二復員大臣

二復總務局第四四五號

昭和二十一年五月七日

○通牒

第二復員大臣

部

令ノ中

吳地方復員局掃海部下關支部ノ項掃海艦名ノ欄「同 第二百四十六號」ノ次ニ「同 第七十一號(佐)、同 第三百四十九號

佐世保地方復員局掃海部博多支部ノ項ヲ削ル

大(參照) 昭和二十一年三月十八日第二復員省公報第一〇號)

内令第六五號

元特務船 大泊

右ヲ特別輸送艦トシテ横須賀地方復員局所管ト定メタノヲ解ク

元敷設特務艇 加德

右ヲ特別輸送艦トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタノヲ解ク

右ヲ特別輸送艦トシテ吳地方復員局所管ト定メタノヲ解ク

第二復員省公報 第八五號 昭和二十一年五月十一日

各地方復員局人事部長
同上

第二復員省總務局長
第二復員省人事局長

在外軍人軍屬留守宅住所變更通知ノ件照會

在外軍人軍屬留守宅住所ノ變更ヲ本人ニ通知シテ半ナイタメ歸還軍人軍屬デ路頭ニ迷フ者ガ半ル状況デアルカラ各人事部長ハ留守家族カラ住所變更ノ通知アリ次第コレヲ各上陸地連絡所ニ通知シ更ニ上陸地連絡所長ハヨレシ歸還軍人軍屬ニ傳達スル方法ヲ講ゼラレタイ

二復經理局主第七號ノ五五
昭和二十一年五月九日

關係各廳長殿 第二復員省經理局長
外地歸還海軍軍人軍屬解員給與取扱要領中改
正ノ件通牒

外地歸還海軍軍人軍屬解員給與取扱要領中改
正ノ件通牒

甲片中「歸鄉旅費及遭難服裝手當」ヲ「及歸鄉旅費」ニ改メ
遭難服裝手當ノ欄ヲ削ル。

昭和二十一年二復經理局主第七號ノ一二「外地歸還海軍軍人軍屬解員給與取扱要領」(二月十四日公報)ヲ次ノヤウニ改正スル。
第二號中「歸鄉旅費及遭難服裝手當」ヲ「及歸鄉旅費」ニ改メル。
同號中(ロ)ノ二ヲ次ノヤウニ改メハヲ削ル。

(二) 支給金額

將官、勅任文官同待遇者	六〇〇圓
佐官、奏任文官五等以上同待遇者(部内限待遇者ヲ含ム)	五〇〇圓
大尉、奏任文官六等以下同待遇者(部内限待遇者ヲ含ム)	四〇〇圓
中、少尉及准士官、判任文官同待遇者(部内限待遇者ヲ含ム)	三〇〇圓
下士官	二五〇圓
兵	一五〇圓

手當ノ欄ヲ削ル。

九 本改正ハ昭和二十一年三月一日以後ノ給與ニツキコレヲ適用スル。但シ本改正中勤續手當ニ關スル部分ハ昭和二十一年四月一日以後、歸鄉旅費及ビ遭難服裝手當ニ關スル部分ハ昭和二十一年五月一日以後ノ夫々ノ給與ニツキコレヲ適用スル。

第五號中「戰時增俸戰地又ハ準戰地陸上所定額」、戰時增給戰地又ハ準戰地ノ陸上標準額、勤續手當及臨時家族手當」ヲ「臨時家族手當、臨時物價手當及臨時手當」ニ改メル。
第七號中「歸鄉旅費及遭難服裝手當」ヲ「及歸鄉旅費」ニ改メル。

乙片中	戰	時	增	俸
	卽			
	月	分	迄	

臨時物價手當	臨	時	手	當
卽				
月	分	迄		

ニ改メ遭難服裝

第二復員省公報 第八六號

昭和二十一年五月十三日(月)
第二復員大臣官房

○告示

二復告示第二號ノ二

高雄警備府軍法會議ハコレヲ廢止スル

高雄警備府軍法會議ノ後繼裁判所ヲ吳第二復員地方裁判所ニ指定スル

昭和二十一年四月三十日

第二復員大臣

部主事

部長

主事

四 工事ノ指導、監督又ハ業務補助ノタメ、旅行ヲ命ぜラレタキ。

前項ノ規定ニ該當スル者旅行中官カラ宿舎ヲ供給シ、同時ニ官カラ糧食ヲ給サレタ場合ハ日當ノミコレヲ支給スル。

第一項第三號及ビ第四號ノ規定ニ該當スル旅行デアツチ同一地ニ滞在スルコト、三十日ヲ超ユルトキハ三十日カラ其ノ地出發ノ前日マダソノ宿泊料ノ二分ノ一ヲ減額スル。

本令ハ昭和二十一年五月一日以後ノ給與ニツキコレヲ適用スル。

本令施行ノ際現ニ旅行中ノ者ニシテ同一地ニ滞在中ノモノニ對シ第一項但書及ビ第三項ノ規定ヲ適用スル場合ハソノ旅行ニツキ目的地ニ到着シタ日ノ翌日カラコレヲ起算スル。

昭和二十一年五月十日

第二復員大臣

官房經第七一號

第二復員省經理局臨時處理班規程ヲ次ノヤウニ制定スル

昭和二十一年五月十日

第二復員大臣

海軍省經理局臨時調查班規程（昭和二十年官房軍第五〇七號）
ハ本令施行ノ日ニ廢止スル

第二復員省經理局臨時處理班規程
昭和二十一年五月十三日

第一條 當分ノ間第二復員省經理局ニ臨時處理班ヲ置ク

第二條 臨時處理班ハ左ノ事務ヲ掌理スル

一、終戰時契約打切ニヨル事務處理ニ關シテ各部（艦本整理部、航本整理部、施本整理部等）カラ經理部ニ引繼イダ事項ノ中契約打切ニ伴フ賠償金ノ算定、前拂金、概算拂金等

ノ契約關係未處理事項ノ整理並ビニ契約打切ニ伴ツテ生ズル官品ノ整理及處理ニ關スルコト

二、第二復員省經理局臨時調查班カラ承ケ繼イダ事項ニ關スルコト

三、ソノ他廢止各部ノ殘務ニ屬スル契約及ビ物品ニ關スル事項デ特ニ臨時處理班デ處理ヲ必要トスル事項ニ關スルコト

第三條 臨時處理班ニ左ノ職員ヲ置ク

班長 第二復員省經理局附事務官ヲコレニ充テル
事務官 若干名

第四條 班長ハ第二復員省經理局長ガ命ズル

第五條 班長ハ經理局長ノ命ヲ承ケテ班務ヲ掌理スル

第六條 事務官ハ上官ノ命ヲ承ケテ服務スル

第七條 臨時處理班ノ所掌事務ノ細目ハ經理局長ガコレヲ定メル

本令ハ昭和二十一年五月十日カラ施行スル

附 則

第一復員省公報 第八七號

昭和二十二年五月十六日(木)

第二復員大臣官房

○令
達

内令第六六號

昭和二十年内令第七號ノ一部ヲ次ノヤウニ改正スル
昭和二十一年五月十日

第二復員大臣

ル

部

主計課

横須賀地方復員局掃海部横須賀支部ノ項掃海艦名ノ欄「哨特第三十
一號、同第百三十四號、驅潛特第四號、同第二十七號、同第
八十三號、同第百八十五號、同第二百二十一號、同第
一百五十九號、同第百六十一號、同第百七十一號、同第二百二
號、掃特第十一號、同第十二號、同第十三號、同第十四號」ヲ
削リ

大阪地方復員局掃海部大坂支部ノ項掃海艦名ノ欄「哨特第三十
一號、同第百三十四號、驅潛特第四號、同第二十七號、同第
八十三號、同第百八十五號、同第二百二十一號、同第
一百五十九號、同第百六十一號、同第百七十一號、同第二百二
號、同第百八十五號、同第二百三十一號、同第二百四十一號、
同第一號(横)、第六十八號(横)、同第八十八號(横)、同第百五
十五號(横)、同第百五十九號(横)、同第百六十一號(横)、同第
一百七十一號(横)、同第二百二號(横)」ニ改メ同項ノ次ニ左ノ一
項ヲ加ヘル

吳地方復員局掃海部下關支部ノ項掃海艦名ノ欄「哨特第三十
一號」ノ次ニ「同第百七十六號(佐)」ヲ、「同第七十一號(佐)」
ノ次ニ「同第八十號(佐)」、「同第九十號(佐)」、「同第九十三號(佐)」
ヲ加ヘル

佐世保地方復員局ノ項掃海艦名ノ欄「海第四十八號(吳)」、「同第
三號」ノ次ニ「同第百七十六號(佐)」ヲ、「同第七十一號(佐)」
ノ次ニ「同第八十號(佐)」、「同第九十號(佐)」、「同第九十三號(佐)」
ヲ加ヘル

大湊地方復員局
海第四十八號(吳)
同第七十六號(吳)
同第七十七號(吳)

(參照 昭和二十二年五月十六日第二復員省公報第一〇號)

官房人第五〇號
第二復員事務官又ハ第二復員技官デアツチ、左ノ各號ノニ該當スル者ハ、昭和二十一年達第八號ノ規定ニカカハラズ、別表各下欄ノ俸給ハ、別ニ辭令ヲ用ヒズ當該上欄ノ號俸トズ。一昭和二十一年三月第二七一七三〇番電ニヨツチ増俸サレタ

二
昭和二十年四月一日現在判任文官一級俸ニシテ同日ヨリ昭和二十一年三月三十一日迄引續キ海軍又ハ第二復員部内各廳ニ勤務シタ者。

別表

第〇三一七五五番電 昭和二十一年五月三日發電
濟

此次戰爭中外國人南洋諸島關東州又ハ滿洲國內ニ於テ在陸中又ハ旅行中死亡シタル者ノ遺族ニ對シテハ死歿者特別賜金ヲ賜與セラレザル場合ニ在リテモ海軍外國旅費規則又ハ海軍南洋群島關東州滿洲旅費規則ニ依ル死亡手當ハ昭和二十一年四月一日以降之ヲ支給シ得ザルコトト定メラル

第一〇三一七五四番電 昭和二十一年五月三日發電
濟
發 經理局長
宛 部內一般

第二復員部内職員赴任又ハ轉勤ノ際支給スペキ移轉料ハ本年五月一日以降昭和二十一年官房經第三五號ノ規定ニ拘ラズ海軍内國旅費規則第六表ノ額ニ依ル

2214

クチン、ゼツセルトン其ノ他ボルネオ地區、
ダバオ及コーランボ方面カラノ引揚邦人ノ持
金ニ關スル件通知
首題ノ件ニ關シ大藏省理財局長カラ別紙ノ通り通知ガアツタカ
ラ承知サレタイ。

(別紙)

昭和二十一年四月三十日

大藏省理財局長

第二復員省經理局長殿

クチン、ゼツセルトン其ノ他ボルネオ地區ダバオ及コーランボ
方面カラノ引揚邦人ノ携帶シテ來タ、正金、南發又ハ臺銀現地
支店ガ發行シタ、持歸リ金ノ代リトシテノ預金通帳ニ對シテ
ノ、持歸金限度ノ支拂ニ付テハ、本日別紙ノ通り横濱正金銀行
ニ對シテ通牒シテ置キマシタカラ御了知ノ上可然御取計ヒ下サ
イ。

昭和二十一年四月三十日

大藏省理財局長

横濱正金銀行總務部長殿
クチン、ゼツセルトン其ノ他ボルネオ地區ダバオ及コーランボ
方面カラノ引揚邦人ノ携帶シテ來タ、貴行、南發又ハ臺銀現地
支店ガ發行シタ、持歸リ金ノ代リトシテノ預金通帳ニ對シテ

ハ、持歸金限度(一般入千圓、軍人將校五百圓、下士官以下二
百圓)ノ範圍内ニ立替支拂ヲシ右ノ預金通帳ニハ持歸金限度支
拂濟ノ記入ヲシタ上預リ證ト引換ニ引揚保管ラシ、且ツ引揚證
明書ニ裏書處理シスルコトト致サレ度イ。
尙本件支拂ニ當ツテハ支拂ノ相手方ノ身分及引揚證明書ノ裏書
濟否ニ注意シ過拂ヤニ重拂等ノナイ様充分御留意願ヒマス。
右御立替支拂額ノ措置ニ付テハ追而御通知シマス。

○雜

○郵便物發送先
特別輸送船海第一〇五號 福岡市博多上陸地連絡所氣付

○移轉
横須賀地方復員局人事部甲府支部 甲府市古府中町二八番地
山梨地方世話部内

○殘務整理
伏木掃海支部ハ任務終了四月三十日解隊殘務整理ハ舞鶴地方復

員局經理部内

○事務開始
仙崎上陸地連絡所 山口縣大津郡仙崎町幸町吳地方復員局仙崎
郵航部

第二復員省公報 第八九號

昭和二十一年五月二十一日(火)

第二復員大臣官房

○令達

内令第六七號

當分ノ間特別輸送艦(元月望艤逐艦)ニ乗組トシテ兵科特務士官(機)一人(二級ノ復員事務官)ヲ臨時増置スル

昭和二十一年五月十七日

第二復員大臣

官房總第六八號

當分ノ間第二復員省總務局ニ造修課(假稱)ヲ置キ艦船ノ造修

三關スル事務ヲ掌ラシメル

昭和二十一年五月十日

第二復員大臣

○通牒

二復人事局扶第一五號ノ一二六

昭和二十一年五月十三日

第二復員省人事局長

各地方復員局人事部長
支部長殿
同名地方復員人事部長
支部長

第三復員省公報 第八九號 昭和二十一年五月二十一日

二復人事局扶第一五號ノ二三七
昭和二十一年五月十八日

第二復員省人事局長

關係各廳長殿

敘位敘勳ノ取扱ニ關スル件通牒
首題ノ件ニ關シ、別紙ノ通り内閣書記官長ヨリ通牒ガアツタカラ了知サレタイ。

追テ、昭和二十一年三月三十日迄ニ敘位又ハ敘勳ノ資格發

復員後ノ死歿者デ、戰病死ト大入キ者ノ申出ニ關スル件照會

首題ノ件ハ、二復省機第〇九一八二一番電ヲ以テ、昭和二十年九月二日以前戰病ニ罹リ、コレニ基因シ死ビシタ者(戰地勤務三ヶ月以上ニ及ンダ者デ、内地歸還後六ヶ月以内ニ結核性疾患ガ發病シタ者ヲ含ム)ハ、戰病死トシテ取扱フ事ニ、定メラレタノデアルガ、地方ニ復員後死亡シタ者デ、右ニ該當スル場合ソノ申出ナク、又ハ申出ノ資料が不十分ノタメ、戰病死トシテ處理出来ナイモノガアル様デアルカラ、各人事部及同支部ニ於テハ、各市區町村長ト密接ニ連絡セラレ、醫師ノ死亡診斷書及び病歴ヲ添附シタ證明書ヲ、夫々在籍ノ人事部(局)ニ、漏レナク送付サセル様取り計ハレ度イ。

生シタ者ハ、別紙第三項ノ規定ニカカハラズ、從前ノ通り具申(進達)スルコト。

(別紙)

内閣人閣議第七五五號

昭和二十一年五月四日

内閣書記官長 桥 橋 渡

第二復員次官 三戸 緒殿

官吏任用敍令施行二件フ官吏ニ對スル敍位

及ビ敍勳並ビニ貴族院及ビ衆議院ノ議長、副議長、議員又ハ市町村長及ビ市町村助役ニ對スル敍勳ノ取扱ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ別紙ノトホリ上裁ヲ經テ決定シタノデ命ニ依リ通牒スル。

(別紙)

官吏任用敍令施行ニ伴フ官吏ニ對スル敍位及ビ敍勳並ビニ貴族院及ビ衆議院ノ議長、副議長、議員又ハ市町村長及ビ市町村助役ニ對スル敍勳ノ取扱ニ關スル件

一 官吏ニ對スル現行ノ敍位並ビニ敍勳ノ制度ハ一時停止スルコト。
二 貴族院及ビ衆議院ノ議長、副議長、議員並ビニ市町村長及ビ市町村助役ニ對スル現行ノ敍勳制度ハ一時停止スルコト。
三 前二項ニ拘ハラズ本年三月三十一日迄ニ於テ文武官敍位進

階内則ニ依リ初敍又ハ特旨敍位(位階追陞ヲ含ム)ノ資格ノ發生シタ者並ビニ敍勳内則第六條ニ依リ初敍進敍ノ資格ノ發生シタ者ニ對シテハ特ニ從前ノ例ニ依リ敍位並ビニ敍勳ノ取扱ヲ爲シ得ルコト。

四 在官在職中死歿シタ者ニ對スル敍位及ビ敍勳ニ付テハ民間功勞者ニ對スル死亡ノ際ニ於ケル特旨敍位又ハ敍勳、勳章加授ノ例ニ準ジ其ノ際敍位並ビニ敍勳ノ取扱ヲ爲シ得ルコト。
五 第一項及第二項實施ノ爲敍位並ビニ敍勳セラレナカツク者ニ對シテハ新制度實現ノ際ニ於テ新制度ヲ遵及適用スルナドノ方法ニ依リ不利益ヲ蒙ラナイ様考慮スルコト。

○ 雜 款

(轉官)

第二復員事務官藤田矩夫ハ四月十五日、海軍司政官矢栗信雄ハ五月十五日イヅレモ内務事務官ニ轉官シタ

○正誤

五月八日第二復員省公報第二八號令達欄第二復員部内臨時手當支給規則第一條第四號中「越エナイ」ハ「超エナイ」ノ、同第二復員部内臨時家族手當支給規則外四件改正中第四號「官吏(三級) 同待遇者及部内限(三級) 待遇者」ハ「官吏(三級) 同待遇者及部内限有吏(三級) 待遇者」ノ孰モ誤

第二復員省公報 第九〇號

昭和二十一年五月二十二日(水)

第二復員大臣官房

○令達

内令第六八號

昭和二十年内令第七號ノ一部ヲ次ノヤツニ改正スル

昭和二十一年五月二十日

第二復員大臣

關係各廳長殿

正ノ件通牒

二復經理局主第七號ノ五六
昭和二十一年五月九日

第二復員省經理局長

○通牒

吳地方復員局掃海部吳支部ノ項掃海艦名ノ欄「片島」ノ次ニ「黒神」ヲ別ヘル
同下關支部ノ項掃海艦名ノ欄「哨特第百五十二號、同第百五十三號、同第百七十六號(佐)、驅潛特第百七十九號」ヲ「哨特第百三十六號、同第百三十七號、同第百五十二號、同第百五十五號」ニ改メル
同第百七十五號、同第百七十六號(佐)、驅潛特第七十九號、同第八十六號、同第百七十九號」ニ改メル
同德山支部ノ項掃海艦名又ハ隻數ノ欄「雜役船(曳船)三隻」ヲ「雜役船(曳船)二隻」ニ改メル
同仙崎支部ノ項掃海艦名ノ欄「黒神」ヲ削ル
同佐伯支部ノ項掃海艦名ノ欄「哨特第百三十六號、同第百三十七號、同第百七十五號、驅潛特第七十九號、同第八十六號」ヲ削ル
(參照 昭和二十年三月大日第二復員省公報第一〇號)

第二復員省公報 第九〇號 昭和二十一年五月二十二日

二復員部主計課長ハ歸還軍人軍屬ニ對シ歸鄉旅費一率ニ三
百圓ヲ支給スルモノトス
註 歸鄉旅費ハ自由支拂トス
第三號中註ヲ削ル
第七號中「退職賞與及」ヲ削ル
別紙申告書甲片中「退職賞與及歸鄉旅費但シ五〇〇圓ヲ超ユル部分ハ俸給家族下渡廳ニ移牒ス」ヲ「歸鄉旅費」ニ改メ退職賞與ノ欄ヲ削ル
同乙片中勤續手當ノ欄及上記ノ外家族下渡廳ニ移牒スベキモノ

2219

第二復員省公報 第九〇號 昭和二十一年五月二十二日

一八二

ノ項ヲ削ル

二復艦本整理部第二三二九號

第二復員大臣官房艦本整理部所掌事務中會計關係（會計班）及び艦艇修理關係（造修班）ハ五月十日夫々第二復員省經理局及び同總務局ニ移管サレタ

昭和二十一年五月十日

第二復員大臣官房艦本整理部

○雜 款

○正誤

五月十六日公報第八七號令達欄内令第六六號（一七五頁上段）
十六行目「ヲ削ル」ハ「ヲ削リ「同 第百四號（吳）」ヲ「海第
百四號（吳）」ニ改メル」ノ誤

第二復員省公報 第九一號

昭和二十一年五月二十三日(木)

第二復員大臣官房

○令

達

達第一五號

當分ノ間掃海艦船等ノ定員ハ別表ニヨリコレヲ試行スル
昭和二十年内令第一八號掃海船(試航船)定員表ノ件ハコレヲ
廢止スル

長 昭和二十一年五月二十二日

第二復員大臣

長ヨリ第二復員省人事局長又ハ地方復員局人事部長ニ至急通
知サレタイ。

記

一 艦船乗員及内地方面勤務者ニシテ第二復員省廢止ノ翌月未
迄ニ復員セル者ハ一應全面的ニ受入ルモノトス。
本人ノ意志ニヨリ現狀ノ儘引續キ復員部内ニ奉職スル者ニ對
スル爾後ノ受入ハ一般船員ノ新規採用トシテ取扱フモノト
ス。

二 在外地未歸還者ニシテ歸還ノ翌月末迄ニ本會ニ對シ復員届
チ爲シタルモノハ一應全面的ニ受入ルモノトス。

三 復員後船員トシテ本會へ復歸ノ希望スル艦船乗員及内地方
面勤務者ニシテ第二復員省廢止ノ翌月末迄ニ復員不可能ノ者
ハ其ノ復員不能ノ事由ニ付復員局ヨリ本會ニ對シ連絡アリタ
ルモノニ限リ其ノ受入ニ關シ考慮スルモノトス。

四 應召者留守宅ニ對スル本會ノ應召手當ハ左ニヨリ給與スル
モノトス。

(イ) 艦船乗員及内地方面勤務者ニ對シテハ第二復員省廢止ノ
ノ取扱要領ニツイテ同會ヨリ當局宛ニ左記ノ通り照會ガアツタ
ノデ現在應召申ノ船員ニ之ヲ周知サセルヤウ取計ハレタイ。
追ツテ此ノ際引續キ復員部内ニ奉職ヲ希望スルモノハ各所轄

各地方復員局總務部長殿

第二復員省人事局長

應召船員ノ身上取扱ノ件照會

第二復員省ガ廢止セラレタ後ノ船員ニ對スル船舶運營會トシテ
ノ取扱要領ニツイテ同會ヨリ當局宛ニ左記ノ通り照會ガアツタ
ノデ現在應召申ノ船員ニ之ヲ周知サセルヤウ取計ハレタイ。
追ツテ此ノ際引續キ復員部内ニ奉職ヲ希望スルモノハ各所轄

第二復員省公報 第九一號 昭和二十一年五月二十三日

一八三

2221

五 本會ニ於テ一旦受入レタル後ニ於テモ船員需給狀況及其他諸般ノ實狀ニ照應シ整理等ノコトモ可有之。

六 復員者ハ速ニ本部船員部（高級船員）又ハ神戸支部船員部（普通船員）所屬課ニ對シ復員届（本人出頭又ハ書類提出）ヲナスモノトス。

○ 雜 款

○金錢給與事項ノ件

第十二特別根據地隊カラノ昭和二十一年五月一日以後ノ復員者ニ對スル金錢給與支給區分ハ次ノ通りデアルカラ給與通牒ノ有無ニカカハラズ處理サレタイ。

一 紙與通牒發行日ハ全部昭和二十一年五月一日トシテ各人ニ所持サセル。

二 内地歸還ノタメ出發月日必要ノ時ハ履歴又ハ復員調書、申告等ニ依ルコト。

三 紙與通牒內容ハ次ノ通り

イ 増俸給給料（特例一表イ又ハロ額）

賞與（臨時、特別、年末、年度末共）

臨時家族手當（有資格者ノミ）

本勤績手當（有資格者ノミ）
（ヘ）加俸（昭和二十年十一月末迄支給済）

但シ昭和二十年五月以前家族渡中ノ者ハ五月ニ右ノヤウニ變

備考
更シタ。

一 臨時家族手當支給規則ニヨル扶養家族員數ニ對シテハ昭和二十年度ニ入り通信連絡不充分ノタメ確實デナイノデ下波廳デ再調處理サレタイ。

二 諸加俸ハ四月末迄未給調記入シテアルガ五月以後ノ分ニツイテハ計上シテナイ。
三 本給與通牒以外ニ未給、未精算ニ對シテハ證明書ヲ所持サセタ。

（第十二特別根據地隊主計長）

掃海艦船等定員表

別表

官職科 艦船別	士官						特務士官			准士官			下士官						兵			計			備考	
	艦艇長	航海長	機雷長	機關長	兵	軍主	兵	機	看	主	兵	機	兵	機	看	主	兵	機	看	主	計	一	二	三		
元海防艦	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三〇	二〇	一	三	二八	二五	一	四	一一三	九五	一	一	一	
元敷設艇	一	一			一		一	一	一	一	一	一	二〇	一五	一	二	三〇	一五	一	四	一一四	九六	二	本表ノ外各艦船等(元ノ海防艦、掃海艇及ビ敷設艇並ビニ處分船ヲ除ク)ニハ特務士官定員ノ各百分ノ二十、	准士官、下士官及兵定員ノ各百分ノ十ノ人員ヲ置クコトガデキル	
元掃海艇	一			二			一	一	一	一	一	二	二〇	一五	一	二	三〇	一五	一	四	一一四	四九	三	漁船ノ定員ニハ嘱託者ヲコレニ充テルコトガデキル	大發及漁船ニハ二隻毎ニ指揮官トシテ准士官一人ヲ置クコトガデキル	
元特設掃海艇	一						一				一	一	一五	六			一五	六	一	三	一一三	四七	二	高等武官ノ定員ハ二級ノ復員事務官ノ、刺任武官ノ定員ハ三級ノ復員事務官ノ、兵ノ定員ハ属員ノ定員トス	准士官、下士官及兵定員ノ各百分ノ十ノ人員ヲ置クコトガデキル	
元掃海特務艇	一						一				一	一	二	七			一三	八	一	二	一一二	二九	一			
元驅潜特務艇							一				一	二	五	五			一〇	五		二	一一一	二三	一			
元特設駆潜艇	一						一				一	一	七	八			二	二		二	一一二	一九	一			
曳船					一						八	一	四	四			五	四		二	一一一	一九	一			
大發												一	一				三	二			一一六	一〇	一			
漁船													二	一			五	二			一一一	三六	一			
元特設哨戒艇							一					一	六	七			一三	八		一	一一一	四四	一			
元哨戒特務艇												一	一	三	七			一三	八		一	一一一	五四	一		
元驅潛艇	一						一					一	一	三	一〇			二三	一〇		二	一一二	六六	一		
A		一											二五	三	二	四					一一三	六一				
B		一											三〇	二	二	四					一一三	三				

(昭和二十一年五月二十三日第二復員省公報)

第二復員省公報 第九二號

昭和二十一年五月二十五日(土)

果實酒
疲勞回復酒
元氣酒
ビタミンC入酒



2224

第二復員省公報 第九二號		昭和二十一年五月二十五日(土)	
官房需第九號		○通牒	
昭和二十一年五月二十三日		第一復員大臣官房庶務課長	
關係各廳長殿	記	同項ノ次ニ次ノ一項ヲ加ヘル	
糧食品換給ニ關スル件申進		波勞回復酒 ○○三六	元氣酒 ○○三六
昭和二十一年十二月一日官房需第二號別表第一ノ中ヲ次ノヤウニ 改正シ、昭和二十一年五月一日以後ノ給與ニ付テコレヲ適用出 來ルコトニ定メラレタ。		ビタミンC入酒 ○○三六	
乾パン(非常勞働食)ノ項換給品種、量額及記事ノ欄、乾餛飩 類ノ次ニ次ノヤウニ加ヘル		航空ビタミン食 ○一	野菜補充食 四五五 ノ併給ハ適
航空元氣食	四五〇	野菜補充食 二二七 宜トスル	
ビタミン(C)食	四五		
ビタミン(P)食	三四〇		
固型卵黃	四〇		
角形榮養食			
火酒ノ項換給品種、量額ノ欄ニ次ノヤウニ加ヘル			
官房需第一〇號		(参照)昭和二十一年十二月十四日第一復員省公報	
昭和二十一年五月二十三日		第一復員大臣官房庶務課長	
關係各廳長殿	記	糧食品換給ニ關スル件申進	
同上			
昭和二十一年官房需第八號糧食品換給ニ關スル件ノ中ヲ次ノヤ ウニ改正シ、昭和二十一年五月一日以後ノ給與ニ付テコレヲ適 用出來ルコトニ定メラレタ。			

品種、日額ノ欄果實シロップノ次ニ次ノヤウニ加ヘル

疲勞回復液——〇・〇六

（参照 昭和二十一年三月七日第二復員省公報）

第一五一七二〇番電 昭和二十一年五月十五日發電済

發 經理局長

宛 部内一般

旅費等級ニ關スル件

第二復員部内各廳ニ勤務スル官吏（軍人ヲ除ク）ノ旅費等級ハ親任官ヲ除キ官吏俸給令別表十號倅以上ノ一級官吏ハ二等、十六號倅以上ノ二級官吏ハ四等、十七號倅以下ノ二級官吏ハ五等、二十六號倅以上ノ三級官吏ハ六等、二十七號倅以下ノ三級官吏ハ七等ニヨリ處理サレタイ。

第一五二三三〇番電 昭和二十一年五月十五日發電済
發 第二復員大臣
宛 部内一般
軍人軍屬ノ解員ニ件ノ給與ノ改廢ニ關スル件
昭和二十年八月官房機密第二二二三二〇番電、同第三二二二五番電及ビ同第三〇一八三一番電（九月六日、九月十五日公報）ハ昭和二十一年五月十四日限リコレヲ廢止スル
第一五二三三五番電 昭和二十一年五月十五日發電済

發 經理局長
宛 部内一般

退職賞與及歸鄉旅費ニ關スル件

一 屢員傭人及工（鍛）員整理ノ際支給スル退職賞與ハ昭和二十一年五月十四日限リコレヲ廢止シ同十五日以後歸鄉旅費ヲ

一率ニ三百圓支給ノコトニ定メラレタ
和二十一年五月十五日以後一率ニ三百圓ニ改メラレタ

三 前二號ノ旅費ハ自由支拂トスル

四 昭和二十年十二月第一三〇九二五番電（昭和二十一年一月十六日公報）ハコレヲ廢止スル

第一七一五二三番電 昭和二十一年五月十七日發電済
發 經理局長
宛 内地部内一般
屢員傭人及工員ノ退職賞與ノ件

今回聯合軍側ノ指示ニ依リ屢員傭人及工員ノ退職賞與ヲ廢止シ軍人軍屬全部ニ對シ歸鄉旅費一率三百圓支給ノコトニ定メラレタル處更ニ既ニ支給シタル屢員傭人及工員ノ退職賞與鍛ニ軍人軍屬ノ歸鄉旅費ノ中封鎖支拂ニ依リ支給シタル部分ハ現ニ殘存スル金額（但シ生活困窮者ヲ除ク）ニ限リ國庫ニ返納セシメラル様近ク法制措置ヲ講ゼラル豫定

尙本件ハ第一復員省ト同一步調ナリ爲念

第二復員省公報號外

昭和二十一年五月二十五日(土)

第二復員大臣官房

○訓 示

訓 示

一、冷厳ナル敗戦ノ現實ニ處シツツ整齊タル復員ヲ完遂シテ、
ソノ終ヲ全フシ復員者ヲシテ平和日本再建ノ礎石トナル
ヤウニスルコトハ我々ノ責務デアルト存ンジマス。

トヅカ諸官ガ沿タル俗説悪評ニ拘泥セズ物心兩面ノ艱苦
ニ耐エ私心ヲ離レテ専ラ本務ニ邁進セラレマシテ本大臣ヲ
輔佐セラレンコトヲ御願ヒ致シマス。

二、第工復員省服務ノ重點ハ

- 1 在外部隊ノ回滑ナル復員促進
- 2 戰死者ノ遺家族、傷病軍人並ビニ復員者ニ對スル扶助
更生業務ノ推進
- 3 掃海及ビ復員輸送
- 4 復員ニ關スル殘務整理ノ完整
- 5 聯合軍ノ要求ニ依ル資料調製

等ニ在ルコトハ今更申上ガル必要ハアリマセンガ本業務遂

行ニ際シマシテハ關係各省トノ相互協力ニ俟ツモノ極メテ
多イノデアリマスルカラ次官ヲ中心トシテ政府諸機關トノ
連繫ヲ密ニセラレ至難ナル復員業務ノ完遂ヲ期セラレニヨ
トヲ希望致シマスルト共ニ本職亦最善ノ努力ヲ致シタク所
存デアリマス。

昭和二十一年五月二十四日

第二復員大臣 吉田 茂

2226

第二復員省公報 第九三號

昭和二十一年五月二十八日(火)
第二復員大臣官房

○令達

内令第六九號

右ヲ特別輸送艦トシテ吳地方復員局所管ト定メタノヲ解ク
元第七十一號海防艦

右ヲ特別輸送艦トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタノヲ解ク
元第二十三號駆潜艇

右ヲ特別輸送艦トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタノヲ解ク
元第二十二號駆潜艇

昭和二十一年五月二十五日

第二復員大臣

○通牒

二復入事局扶第二五號ノ一四一
昭和二十一年五月二十二日

二復入事局扶第二五號ノ一四一
昭和二十一年五月二十五日

ハ一括シタ遺骨名簿ニヨツテ、全人事部及ビ同支部ニ、同時ニ
依頼スルコトニスルカラ、遺骨箱ノ準備等ハ、各部毎ニ然ルベ
ク取計ハレタイ。但シ遺骨ノアルモノハ、從來通り遺骨護送ノ
要領ニヨツテ、速カニ引渡地ニ移送スル。
尙遺骨引渡名簿寫ヲ一部宛引渡ノ都度、當局宛送付サレタクイ。
二復經理局主第二號ノ四六
昭和二十一年五月二十五日

第二復員省經理局長

關係各廳長殿

臨時手當支給事務ニ關スル件通知

首題ニ關シ大藏省主計局長ヨリ別紙ノ通り通知ガアツタカラ了
知サレタイ。

(別紙)
計發第一五一號
昭和二十一年五月二十二日

第一復員省公報 第九三號

昭和二十一年五月二十八日

一八七

手當給與令附則第二項ノ規定ニヨリ、本年五月三十日迄小切手ヲ振り出しシ得ルコトニナツテキルガ、出納官吏ニ於テモ特ニ同日迄コレガ支拂フ爲シ得ルコトニ決定シタカラ、右ニヨリ御處理相成リタク命ニヨリ通牒致シマス。

尙右臨時手當ノ支出ニ關スル定額戻入ハ本年五月三十日迄コレヲ爲シ得ルモノト解シ取扱ツテ差支アリマセンカラ念ノタメ申添ヘマス。

二復經主第二號ノ四七

昭和二十一年五月二十五日

第二復員省經理局長

關係各廳長殿

臨時軍事費定額戻入ノ期限延長ニ關スル件通知

首題ニ關シ大藏省主計局長ヨリ別紙ノ通り通知ガアツタカラ了知サレタイ。

(別紙)

計發第一四九號

昭和二十一年五月二十二日

大藏省主計局長

第二復員省經理局長殿
臨時軍事費特別會計ニオケル定額戻入ノ期限
延長ニ關スル件

臨時軍事費特別會計ニオケル定額戻入ノ期限ハ、本年四月三

十日限リトナツテキルガ、同會計決算ノ狀況カラ、コレヲ本年五月末日迄延期スルコトニ決定シタカラ、右ニヨリ御處理相成リ度ク、命ニヨリ通牒スル。

○ 雜 款

左記ノ者ハ五月二十二日附官房人第四〇號ニ依ル召集解除ヲ取消サレタ

記

海軍軍醫中佐 武藤 經世(三二)

同 同 白田 正雄(三四)

同 同 荒 萩 男(三五)

海軍軍醫少佐 中村 義一(三六)

同 同 白井 春生(三七)

西尾 忠介(三八)

同 同 岩 充(三九)

第二復員省公報 第九四號

昭和二十一年五月三十日(木)

第二復員大臣官房

○通牒

二復總務局第五二二號

昭和二十一年五月二十九日

第二復員省總務局長

部

水路圖誌ノ入手等ニ關スル件照會

水路圖誌ノ供給ニ關シテハ二復總務局第二九九號通知(本年三月三十日第二復員省公報)ノ通り處理セラレツツアルガ入手等

關支事務局アル場合ハ當局艦船巡航課ニテコレヲ斡旋スルカ

ニ同謀ニ連絡アリタイ。

昭和二十一年五月二十五日

第二復員省人事局長

各地方復員局人事部長

同各地方復員人事長殿

復員省廢止後ノ戰歿者遺骨取扱ヒニ關スル件

申進

第一、第二復員省廢止ニ伴ヒ、首題ノ件ニ關シテハ、兩省協議

第二復員省公報 第九四號

昭和二十一年五月三十日

ノ結果、左記ノ通り變更スルコトニ定メラレタ。

記

一 從來實施シテ居タ慰靈祭又ハ遺骨引渡式ハ、遺骨傳達式トスル。但シ、地方ノ實情ニ應シ、豫算ノ範圍内シ故シ得ル場合ハ、慰靈祭ヲ實施シテモ差支ナイ。

二 遺骨傳達式(慰靈祭)ハ、復員廳カラ地方世話部ヘノ委託ニヨツテ、地方世話部長ノ名ヲ以テ之ヲ行フモノトスル。此際成ルベク舊陸海軍關係合同トシ、特ニ定メラレタモノノ外ハ、兩者差別的取扱ヲ爲サズ、且豫算モ合理的ニ節用スルコトニ努メル。

三 遺骨箱ノ大キサハ、縱横十五楕高サ十八楕ヲ標準トスル。但シ、現在手持ノ規成品ハ、從來ノ寸法ノモノヲ使用シテモ差支ナイ。

四 從來第一、第二復員大臣ノ名ヲ以テシテ半夕供物料等ハ、復員廳總裁ノ名ヲ以テ贈與スル。

○雜款

○郵便物發送先

特別輸送船第三日正丸 長崎縣佐世保郵便局氣付
特別輸送船七十一號 神奈川縣浦賀町浦賀造船所氣付

一八九

特別輸送船 保 高 鹿兒島上陸地連絡所氣付

「艦艇需品費」ノ誤リデアル。

○移轉

大阪地方復員局人事部奈良支部

奈良市紀寺町奈良地方世話部構内（電話奈良三四七八番）

省線

奈良驛下車東へ徒歩約二十分

○巡路

同 京終驛下車北へ徒歩約十五分

近畿日本鐵道奈良驛下車南へ歩徒歩約二十五分

大阪地方復員局人事部

大阪市東區馬場町大阪地方世話部構内

○電話復舊

富山地方復員人事部 富山三五五八番

○撤去

伏木掃海支部殘部整理班ハ五月十七日事務終了撤去シタ。

○轉官

海軍教員須田政明ハ昭和二十年七月二十一日附横濱第二中學校
教諭ニ、海軍教員神澤哲雄ハ昭和二十年六月三十日附大阪府國
民學校訓導ニイヅレモ轉官シタ。

○昭和二十一年度歲出科目正誤ニ關スル件

昭和二十一年四月一日官房經第六一號（四月二十七日第二復員
省公報令達）ノ別冊科目表第六頁十二行目「需品費」トアルハ

第二復員省公報 第九五號

昭和二十一年五月三十日(金)

第二復員大臣官房

昭和二十一年五月二十九日

第二復員省總務局長
第二復員省人事局長

官房經第七九號

臨時軍事費特別會計歲出科目中二月二十八日附左ノ通り追加ス

昭和二十一年五月三十日

第二復員大臣

會計科目
會計科目

部	款	項	目	節	解	疏	會計科目
軍事費	臨時軍	臨時軍	金特定處分	聯合軍制ノ指令ニ基キ輸入却禁	止等ノ他ノ指分ニシメラレタルモノヲ出セシメラレタ	於テノ外國官金等ニシメラレタ	會計科目
凍結資金							
○通牒							
二復人事局扶第一號ノ三三							

第二復員省公報 第九五號 昭和二十一年五月三十日

記
外地カラノ歸還者ガ内地上陸ト同時ニ先づ第一ニ確メ度イノハ
家族ノ者ノ現住所デアル。又家族ノ者ニトツテモ歸還者ニ最モ
早ク知ラセタイモノデアル。永オ間通信杜絶ノ地ニ出征シテヰ
タ者ヤ、ソノ家族ガ戰災地ニ居住シテヰタモノニ付テハ特ニソ
ウデアル。此ノコトニツイテハ從來モ行ハレテヰタノデアル
ガ、復員輸送モ非常ニ抄ツテ來タ狀況デアルノデ、特ニコノ點
ニ遺憾ナキヲ期スルタメ、次ニ述ベルヤウナ要領デ實施スル。
一、家族カラノ通知ハ左ノ要領デ出スヤウニ新聞ニ廣告スルト
共ニ「ラジオ」放送ヲ行フ。
尙區分ニ依ル通知先ノ判ラナイ家族ハ最寄人事部ニ通知ス

一九一

(1) π_0

(口) 通知内容
(二)(一) 通知ハ葉書ニ限ル。
通知ハ左ノ要領ニヨルコトニ一定スル。

家庭住所通知		一 部隊(不明ノ場合ハ手紙ノ宛名ニテモ可)	
二 階級		三 氏名	
四 留守擔當者		五 新住所	
(續柄)		(續柄)	
部隊名又 ハ 手 紙 ノ 名	階級	氏 名	留 守 擔 當 者
		續柄	氏 名
		(新 住 所)	(舊 住 所)

各人事部ニオイテ接受シタ通知書ノ處理ノ要領
各人事部扶助課デハ「家庭住所通知」ニ依ツテ左記ノ「イロハ」別名簿ヲ作リ(一週間位ノ間ニ到着ノ分)總メテ作ルガハ
非常ニ多イ場合ハ毎日デモ作ツテモラヒタイ)別記各上陸地
連絡所ニ送付スル。

三 各上陸地連絡所收容所デハ各人事部カラノ「家族住所通
知」ヲ整備シテ歸還者ノ質問ニ應ズル。

(別記)

所

名

宛

名

特定處分金(日)及ビ「凍結資金(日)」ノ二科目ガ新設追加
セラレタガ、コレニ關聯シ首題ノ件ノ未整理ノ分ニ關シソノ取
扱ヒヲ左記ノ通り一定スル。

記

事項

整理

要領

聯合軍側ニ押収セラ
レタモノ
聯合軍側ノ指令ニモ
トヅキ焼却セシメラ
シ海外カラノ歸還ニ際
メラレタモノ
右ニ同ジ。

聯合軍側ニ押収金(日)トシテ支出整理スル
コト。但シ押収ニ對スル聯合軍側ノ領
收證ノナイモノハ諸支出金(日)亡失
金(節)トシテ支出整理スルコト。
特定處分金(日)トシテ支出整理スルコ
ト。但シ同様に該現金ハ本省經理局
通常物品會計官吏ノ保管ニ移スコト。
計課品會計官吏ノ保管ニ移スコト。
ト○凍結資金(日)トシテ支出整理スルコ
ト。

1 浦賀上陸地連絡所	横須賀市久里濱
2 名古屋上陸地連絡所	名古屋市港區大江町七
3 田邊上陸地連絡所	和歌山縣田邊市神子瀬文里
4 大竹上陸地連絡所	廣島縣佐伯郡大竹町
5 博多上陸地連絡所	福岡市舊柳町三六一
6 鹿児島上陸地連絡所	鹿兒島市六日町朝日通
7 仙崎上陸地連絡所	山口縣大津郡仙崎町
8 舞鶴上陸地連絡所	舞鶴市長濱
9 祓館上陸地連絡所	金森ビルディング内
10 門司上陸地連絡所	戸畠市東木町 戸畠國民學校内
11 下關上陸地連絡所	下關市新町三丁目
12 銚尾上陸地連絡所	長崎縣東彼杵郡銚尾村
13 唐津上陸地連絡所	佐賀縣唐津市

二復經理局主第二號ノ四九
昭和二十一年五月三十日

第二復員省經理局長

關係各廳長殿
臨時軍事費前渡資金ノ特定事故ノ整理ニ關ス
ル件通牒

今般官房經第七九號ヲモツテ臨時軍事費特別會計歲出科目ニ

第二復員省公報 第九五號 昭和二十一年五月三十一日

一九三